

こども未来部長マニフェスト

こども未来部長 己波 敬子
(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

私の思い

国による子ども子育て支援新制度の本格施行と同時に発足しました『こども未来部』も、ようやく 1 年が過ぎました。子育てに関する様々な制度の変更に対応しつつ、更なる子育て支援施策の前進に取り組んだ 1 年であったと思っております。

しかし、振り返ってみますと、こども医療費助成の中学校 3 年生までの拡充や、全国的にも問題となっております保育所待機児童を平成 28 年 4 月時点でゼロとしたことなど一定の成果は見いだせたものの、全国的な少子化の中でもライフスタイル

の変化に伴い今後ますます増えるであろうと思われる保育ニーズへの対応や、逆に小規模化が進行する公立幼稚園の問題、また核家族化の進行などによる子育てへの不安や負担、孤独感に対する支援の充実など、今後も迅速かつ慎重に取り組まなければならない多くの課題も見出されております。

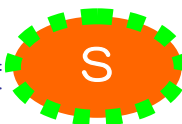
本年度も、子どもの未来を創造する部として、柏原市が安心して子供を産み、育てることができる子育て環境大阪ナンバーワンを達成するために、これらの種々の課題をどのようにすれば着実に解消することができるのかを検討し、最善の施策を実行していかなければならないと考えております。



(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

重点課題

- ① 『公立幼稚園及び公立保育所の再編整備に関する基本計画』の策定
- ② 放課後児童会の安定した運営手法の検討
- ③ 民営化された法善寺保育園の円滑な運営に対する支援
- ④ 『子育てほっと情報誌』の一層の充実



『公立幼稚園及び公立保育所の再編整備に関する基本計画』の策定

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

遂行目標

平成 27 年 4 月に小規模保育事業所 2 か所を認可したことに加え、平成 28 年 4 月からは法善寺保育所を民営化し低年齢児枠を拡充したことにより、本年 4 月の時点での保育所待機児童はゼロとすることができました。しかし、保育所の利用ニーズは高く、年度途中では、特に低年齢児の待機児童が発生するものと思われる。一方、公立幼稚園の園児はますます減少し、本年 4 月には「柏原市立幼稚園の運営方針」に基づき、堅下北幼稚園の 4 才児クラスが休級となっており、このままでは地域における幼児教育の提供が困難になる可能性が高いと思われる。

この 2 点の課題をできるだけ速やかに解消するため、今後の公立の就学前施設のあり方の道筋を示すものとして、平成 32 年度を再編・統合の第 1 目標とした「公立幼稚園及び公立保育所の再編整備に関する基本計画」を本年度において策定いたします。すでに計画(案)を作成し、市民の皆様のご意見をいただくためのパブリックコメントを開始しております。今後は頂いたご意見を反映し計画を完成させ、来年度の事業実施計画へとつなげていきたいと考えております。

また、実際のこども園の運営に当たり必要となる教育・保育内容の研究を、幼稚園教諭・保育士を中心とし、外部の学識経験者も交えて開始します。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトプット(活動指標)

- パブリックコメントの募集 44 日間(4 月 18 日～5 月 31 日)
- 計画の確定時期 7 月
- 認定こども園の運営方針の決定のための『教育・保育研究会』の開催 20 回
- 教育・保育研究のための学識経験者招聘 12 回

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトカム（成果指標）

計画を確定し推進することにより、教育・保育の質の更なる向上、低年齢児の保育所入所枠の拡大、保護者の就労状況にかかわらず同一施設の利用、3歳児以上への幼児教育の提供、施設の集約化による適正な人員配置、老朽化への対応などの施設環境の改善などが図れます。

放課後児童会の安定した運営手法の検討

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

遂行目標

本年 4 月には市内 10ヶ所の放課後児童会の中で、4 校で定員を大きく上回る申し込みがありました。教育委員会及び小学校との連携により開催場所を確保することができ、入会を待機していただくことなく新年度をスタートすることができました。

しかし、保育所二ズの高まりはそのまま放課後児童会二ズの高まりであること、また、子育て支援新制度の施行に伴い本市の条例において基準を定めました面積要件などを平成 31 年度までにクリアしなければならないことや、施設の老朽化などのことから、開催場所の確保は重要な課題であります。本年度は教育委員会、小学校のご協力のもとこの課題の解消に向けて検討を行い、放課後児童会の今後の安定した運営を図らなければならないと考えております。

また、『柏原市子ども子育て会議』におきましても、放課後児童会の運営手法などについての検討に着手していただこうと考えております。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトプット (活動指標)

開催場所確保に向けては、小学校施設との複合化なども視野に入れ、本年度の教育総合会議(年 2 回開催予定)や定例教育委員会での意見交換を行うとともに、小学校長会との連携を密にし検討を行っていきます。また、合わせて今後の運営手法などについても 7 月ごろ開催予定の『柏原市子ども子育て会議』での検討ののち、必要であれば会議内に専門部会の立ち上げを行います。

また、人材確保のため放課後児童会支援員等の 3 ヶ月ごとの定期的な募集、並びに保育の質の向上のために年間 3 回程度の支援員研修会の開催も引き続き行ってまいります。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトカム (成果指標)

放課後児童会の安定した運営と質の高い保育の提供により、子どもたちの健全な育成を図るとともに、共働きの保護者等が安心して子供を預け就労を継続することができ。そのため今後も、入会待機児童ゼロを継続することを目的とします。

民営化された法善寺保育園の円滑な運営に対する支援

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

遂行目標

4 月より民営化いたしました法善寺保育園での、市による引き継ぎ保育の円滑な実施を本年度は行います。民営化3か月経過後の本年7月には、保護者の民営化後の感想やご意見をお聞きするためのアンケートを実施し、その結果を法人とともに今後の保育所運営に役立て、よりよい保育の提供ができるようにしたいと考えております。

また、環境面では施設の大規模改修を予定しており、すでに補助金の内示を受けたことから、法人による入札等の手続きが終了次第、着工を予定しておりますが、工事に際しては子どもたちの安全を最優先し、日常の保育に影響がでないよう法人との緊密な連携をとっていきたいと考えております。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトプット (活動指標)

- 民営化後も引き続き保護者と市、法人による三者協議会の開催 年間 12 回
- 保育の引き継ぎ等に関する法人との連絡会議の開催 年間 20 回
- 保護者アンケートの実施 年間 3 回
- 保護者に対し三者協議会の内容などの情報提供のため『法善寺保育園民営化ニュース』(旧: 民営化ニュース) の市による発行 年間 12 回

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトカム (成果指標)

民営化後も市が定期的に関わることにより円滑な保育の引き継ぎが行えるため、子どもたちへの環境の変化の影響を最小限にできます。また、保護者に対してはアンケートの実施や、紙媒体による情報の提供及び定期的な話し合いの場を設けることで、民営化に関する不安解消を促進します。

『子育てほっと情報誌』の一層の充実

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

遂行目標

子育てに対する不安や負担、孤独感を解消するため、現在市内で実施している子育て支援事業を網羅し紹介する情報誌『子育てほっと情報』を発行しておりますが、本年度は民間の活力を生かし、紙面の刷新を行いより見やすいものとしします。また、官民協働事業により発行部数の増、並びに市の負担の軽減を図ります。

この冊子をママプラスで保育士が家庭訪問をする際に持参し内容の説明を行い各種支援事業へと繋げていくことにより、子育て世帯の孤立化を防ぎ子どもたちの健やかな成長を図るとともに、保護者の不安解消に役立てていきたいと考えております。

また、冊子を有効に活用し、柏原市の子育て支援事業を市外に積極的に紹介することにより、子育て世代の市内流入の促進を図ります。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトプット (活動指標)

- 『子育てほっと情報』誌発行部数 3,000 部
- 市内不動産紹介店舗等への冊子の設置 市内 13 店舗
- 市内大学内への冊子の設置 市内 2 大学
- 冊子閲覧アプリでの携帯電話等での閲覧を可能にする。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトカム (成果指標)

- 子育てほっと情報誌を有効に活用し、親子教室やつどいの広場などの子育て支援事業利用者に対前年比5%増やすとともに、子育てに関する相談件数を対前年比10%増やすことで、子育て中の保護者の不安、負担、孤独感の解消を図ることができます。